

中津市本耶馬溪地域の放置果樹に係る 課題解決に向けた体験型サービスの開発

指導教員：大分県立芸術文化短期大学 国際総合学科 専任講師 秋庭 淳志
協力：中津市役所 本耶馬溪支所 地域振興課

地域課題

本事業で着目した地域課題は、**中津市本耶馬溪地域における「放置果樹」の収穫・管理を行う担い手の確保**となる。

高齢化が進行した結果、日本の各地で果樹等の管理に手が行き届かなくなり、収穫時期を過ぎても果実が放置される「放置果樹」の問題が生じている。そのため、当該課題に着目した取り組みは、他の地域にとっても示唆に富む結果を得られるものと思料される。

【背景①】中津市本耶馬溪地域における高齢化と人口減少

【背景②】果樹を管理する人材の不足

【背景③】果樹の放置に伴う獣害などのリスクの高まり

【地域課題】放置果樹の収穫・管理を行う担い手の確保

事業目的

本事業では、「**放置果樹**」の収穫・管理を担う「**交流人口**」の増加を図るため、「**放置果樹**」を活用した**体験型サービス**を開発することを目的とした。観光客等の「交流人口」の増加を通し、「放置果樹」の管理などを中長期的に担う「**関係人口**」の創出を図ることも目的の一つとなる。現在、地域貢献活動に対する消費者のニーズが高まっているため、地域貢献型の体験型サービスに注目した。

【機会】
地域貢献活動への
消費者ニーズの高まり

【地域の強み①】
体験型サービスに
活用できる
地域資源が豊富

【地域の強み②】
都市部から
アクセス
しやすい

事業内容

本事業では、**地域に貢献できる体験に対し興味・関心が高い参加者像を設定するとともに、放置果樹の果実収穫を軸にした体験型サービスを開発**した。サービスの内容は、①「放置果樹の果実（カボス）収穫体験」と②「窯で焼くピザ作り体験」とした。地域貢献に資する収穫体験だけではなく、果実を味わえる体験も提供した方がサービスの訴求力が高まり、「交流人口」増加につながると考えたため、このようなサービス構成とした。

活動内容としては、サービスの開発に向け、中津市や外部講師の協力を得つつ、現地にてレシピ開発やサービスの試行などを行った。また、一般の方向けにモニターツアーを開催し、サービスの事業性などを検証した。

なお、放置果樹の果実収穫体験を行う際には、果樹の管理ができなくなった農家の方との交流の機会を設けるなど、地域に貢献していることが実感できるようにサービスを設計した。

【活動の流れ】

サービス開発に関わる知識等の習得／中津市本耶馬溪地域の事前学習

体験型サービスの企画案作成

第1回フィールドワーク（現地調査）／サービスの改善

第2回フィールドワーク（現地調査）／サービスの改善

モニターツアー開催



地域への成果

モニターツアー参加者へのアンケート結果を踏まえると、**地域貢献型の体験型サービスは地域の担い手確保に一定の効果がある**と考えられる。

また、サービスの企画から提供まで学生が一貫して体験できる機会は少なく、この点からも活動の意義は大きい。

【アンケート結果①】 モニターツアーの満足度*

「企画」：100%
「価格」：89%
「接客」：89%
「雰囲気」：100%

*「とても満足」または「満足」と回答した割合

【アンケート結果②】 定期的な農業体験に対する参加意向

「意向あり*」：78%

*定期的な農業体験に参加してみたいと「とても思う」または「思う」と回答した割合

+